



あぶくま洞 (田村市)

【メモ】あぶくま洞の近くには入水鍾乳洞があります。1927年に地元の人に発見され、34年に国の天然記念物に指定されました。

最上層に「滝根御殿」

田村市の大滝根山の地下に、鍾乳洞のあぶくま洞があります。8千万年の長い年月をかけ、石灰岩層が雨水や地下水で溶かされてできました。

あぶくま洞は1969年、石灰石の採掘中に発見され、73年に公開されました。公開されている全長約600mの洞内には、天井から下がるつらら石や、タケノコのように上に向かって伸びる石筍、田んぼのあぜのようなリムストーンなどがあります。洞内は3層構造で、最上層には高さ20mの空間「滝根御殿」が広がります。

あぶくま洞の総延長は約4218m。探検ツアーも人気があります。洞内は一年中気温約15度で、夏もひんやりしています。

▲ 8月14日 福島民友新聞掲

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)
